

ほほえみ



桐生厚生総合病院

(編集 院外広報編集委員会)

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号
TEL:0277-44-7171(代) FAX:0277-44-7170
URL: <http://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>



基本理念

命を育み、病を癒す、安心で最良の地域医療

基本方針

1. 私たちは、患者さんの命を守り、健康回復とその増進を責務とし、地域医療の充実と発展に努めます。
2. 私たちは、患者さん及びご家族の思いを受け止め、分かりやすい質の高い診療に努めます。
3. 私たちは、説明と同意を大切にするチーム医療の推進に努めます。
4. 私たちは、地域医療機関との良好な連携強化に努めます。
5. 私たちは、弛まぬ研鑽と実践的な研修に努めます。
6. 私たちは、今後も地域基幹病院として、医療施設や職場環境の整備、効率的で健全な病院経営に努めます。

周術期 口腔機能管理に ついて

歯科口腔外科診療部長

いま い まさ ゆき

今井 正之



歯科口腔外科スタッフ

周術期とは？

入院、麻酔、手術、回復といった患者さんの術中だけでなく前後の期間を含めた一連の期間をいいます。一般に手術に必要な3つの段階、術前、術中、術後が含まれます。

口腔機能管理とは？

摂食（せつしょく食事を摂る）、咀嚼（そしやく食物を噛み、食べやすくする）、構音・発音（言葉を発する、口笛を吹く）、嚥下（えんげ水や食物を飲み込む）、呼吸（空気の出入り口）、消化（唾液中のアミラーゼによるデンプンの分解）、味覚（飲食可能かの判断、および食事を楽しむ）など多くの口腔の果たす役割・機能すべてを健康に保つべくケアすることを言います。

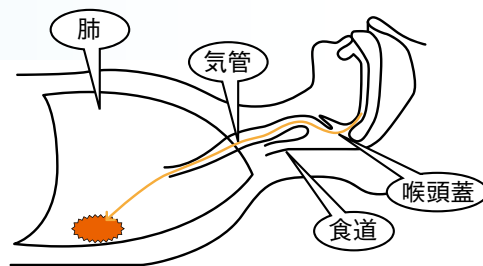
当院では全身麻酔手術を受けられる患者さんに対して『周術期口腔機能管理』を実施しております。



周術期口腔機能管理の効果

①手術後の肺炎予防

口の中の細菌が肺に入ると肺炎を起こします。特に手術後で抵抗力が下がった患者さんには発症のリスクが高くなります。また、全身麻酔で使用する挿管チューブを伝わり、口腔内細菌が気管に入り、肺炎が起こる可能性があります。



細菌を含んだ唾液が気付かない間に誤嚥され、肺に吸い込まれることで肺炎を起こす。

②早期退院と薬剤使用量の抑制

術後の肺炎を防ぐことにより早期退院と抗菌薬などの使用薬剤を最小限に抑えることができます。

③手術部位の感染予防

唾液とともに飲み込んだり、血液中に入り込んだ口腔内細菌が手術した部位に感染することにより治癒が遅れる可能性があります。

④全身麻酔の挿管時の歯の損傷や脱落の防止

特に前歯がグラついている場合には、術前に抜歯や歯の固定、シーネ（マウスピース）の作製を行います。

⑤ 口腔疾患の予防

口の中が不潔であると歯周病が進行し、歯の周りの血管から口腔内細菌が全身に広がります。その結果、糖尿病、心疾患、脳卒中、低体重児出産などの発症のリスクが2倍以上高くなります。

⑥ 術後の口腔機能の早期の回復

口腔乾燥を和らげる方法や美味しく食べる方法、口腔機能訓練をアドバイスします。



周術期口腔機能管理はチーム医療が必要

口腔清掃の他、口腔機能のケアも併せて行わない限り、効果は上がりません。『口腔ケア＝口腔清掃』と誤解されることが多く、口腔機能が低下している患者さんに口腔清掃のみを行うと、歯の表面や口腔粘膜から口腔内微生物を引き剥がし、遊離させることとなります。そして、その遊離した微生物を十分に回収できないと、気道や食道を通じて肺や胃に押し込む結果になってしまいます。すなわち、『口腔ケア＝口腔清掃＋口腔機能訓練』ということになります。さらに術後に早期の退院、社会復帰、健康な生活を取り戻すには術後から低栄養の予防や指導、口腔機能訓練が必要です。

このように周術期口腔機能管理は専門的な知識が要求されるとともに、チーム医療が必要とされます。当院では歯科医師、歯科衛生士、口腔ケア学会認定看護師の他、NST（栄養サポートチーム）、RST（呼吸サポートチーム）、ST（言語聴覚士）等の連携のもとで行われています。



入院前、退院後はかかりつけ歯科医院への受診をお勧めします

全身麻酔での手術、治療が円滑に進むよう、入院前からかかりつけ歯科医院の受診をお勧めします。

入院まで数日間の余裕がある場合は、主治医より“かかりつけ歯科医院”の受診を勧められることがありますので、ぜひ受診してください。



入院患者さん用
説明パンフレット

第13回

ハッピー健康相談室

日時 9月8日(木) 14:00～16:00

内容 ① 認知症を正しく知ろう

担当：看護師 はしもと あやか
橋本 綾子

② 脳も身体もいきいき活性化体操！

担当：作業療法士 こばやし よしやす こいけ あやか
小林 香保 小池 彩香

■ 場 所：桐生厚生総合病院 1階正面玄関脇 情報コーナー

■ 参加費：無料（事前申し込み不要）

■ 駐車場：無料（桐生厚生総合病院の駐車場をご利用ください）

■ 問い合わせ先：地域医療連携室 TEL0277-44-7150

皆さまが、日頃疑問に思っていること、困っていることを気軽に相談できる場所として、ハッピー健康相談室を開催いたします。

皆さまお誘い合わせのうえお越しください。



第17回

市民公開講演

多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

演題

「がんの経済的備えと保険について」

司会 たか はし みつ ひろ 高橋 満弘 (桐生厚生総合病院 医療局長兼放射線科診療部長)

講師 くろ だ なお こ 黒田 尚子 先生

プロフィール

立命館大学法学部卒。(株)日本総合研究所入社 (在職中FP資格取得)。1998年独立系FPとして転身。現在、各種セミナー・講演会講師。新聞・書籍・Webサイトなどで執筆活動、個人向けコンサルティングを行う。自身も乳がんの告知を受け、自らの実体験をもとに、がんをはじめとした病気に対する経済的備えの重要性や老後、介護、消費者問題にも注力。

※FP：ファイナンシャルプランナー

【資格】

CFP®1級ファイナンシャル・プランニング技能士 CNJ認定乳がん体験者コーディネーター 消費生活専門相談員

日時

平成28年8月20日(土) 14:00～16:00 (開場 13:30)

参加費無料・申込不要です。当日直接会場までお越しください。

場 所 桐生地域地場産業振興センター 中3階 第2ホール

駐車場：桐生厚生総合病院駐車場または、桐生市市民文化会館立体駐車場をご利用ください。

主 催 桐生厚生総合病院

お問い合わせ先 TEL0277-44-7150(地域医療連携室)

8階展望レストランが リニューアルオープン

店 名 J's キッチン

オープン日 平成28年5月16日(月)

営業時間 11:00 から 15:00 まで (ただし、ラストオーダーは14:30)



※各種ランチ、めん類、カレーなどを提供し、各種ランチは500円から700円ほどで提供しています。ラーメンやうどん・そばは日替で種類が変わり、400円から450円で提供しています。また、お弁当なども販売しています。

※客席はフリースペースとしてコンビニや売店の飲食物なども持ち込めます(利用時間 7:00から20:00まで)。

高精度放射線治療装置の導入に伴う 放射線治療の一時休止について

本年度に高精度放射線治療装置を導入いたします。放射線治療は8月31日(水)まで実施し、その後は機器更新工事に入るため休止となります。休止期間中は近隣の施設(群大病院、前橋赤十字病院、県立がんセンター、伊勢崎市民病院など)に紹介させていただくことになります。

本年6月中に紹介された患者さんは当院で治療が可能です。それ以後は照射回数にもよりますので、ご相談のうえ当院で実施可能かどうかを判断します。

なお、平成29年5月から新装置による治療を開始する予定です。



栄養食事指導室移転のお知らせ

高精度放射線治療装置の導入に伴う大規模工事により、栄養食事指導室が平成28年6月から半年間程の予定で病棟5階へ移転しました。患者さん及びご家族にご不便をお掛けしますが、医療スタッフのご案内しますので、よろしくお願いいたします。



栄養食事指導・栄養相談のご案内

食事療法が必要な方に対して医師の指示に基づき栄養食事指導を行っています。管理栄養士が患者さんの日常生活や食習慣に合わせた内容で分かりやすくお話しさせていただきますので、お気軽にご相談ください。皆様一人おひとりが、疾病の改善、健康維持に繋がる食生活を実践できるよう、サポートさせていただきます。

対象となる疾患は、糖尿病、脂質異常症、高血圧症、心臓病、腎臓病、肝臓病、膵臓病、消化管疾患、低栄養、摂食・嚥下機能低下、呼吸器疾患、先天性代謝異常症などです。

栄養食事指導日程・時間割

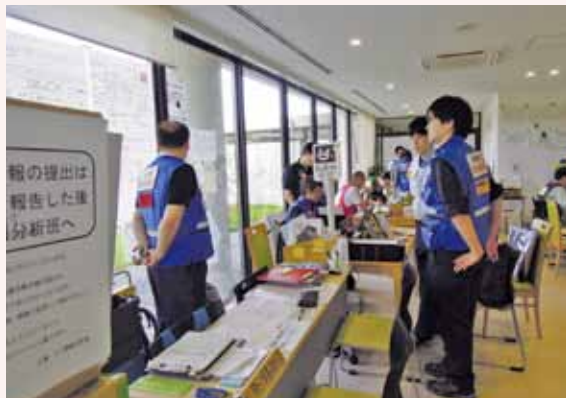
午前(平日)	午後(平日)
9:00-10:00	13:30-14:30
10:00-11:00	14:30-15:30
11:00-12:00	15:30-16:30
	16:30-17:30

※時間割以外でも、ご都合に合わせて調整することができますので、医師、看護師にご相談ください。

熊本地震にかかる医療救護班の支援報告

熊本県知事からの派遣要請を受けた群馬県救護班の第6班として、当院職員4名が5月6日に熊本県に向けて出発し、7日～9日の3日間阿蘇市の医療機関で任務にあたり、10日に帰還しました。

外科医師、薬剤師の2名は阿蘇医療センターに設置された「阿蘇地域災害保健医療復興連絡会議」の本部にて、全国から集まる医療救護班の人員管理や医療器具の管理を行い、看護師2名は、阿蘇温泉病院と阿蘇医療センターで医療支援を行いました。



(※外来診療担当医表はホームページ内で公開していますので省略いたしました。)